

七宝瀧寺と志一上人

—— 葛城修験二十八宿の世界 ——

葛城山系には『妙法蓮華経』の一品一品が埋め納められた二十八の経塚と、それらをめぐるとして行者の心身を鍛え、山の持つ力にその身を浸す行場の数々——「葛城二十八宿」をめぐるとして修験の道のりがある。役行者が「五百弟子授記品」を埋納したとされる第八経塚は、泉佐野市・燈明ヶ岳山頂に位置し、その尾根を南方に見上げる榎井川溪谷には数多の霊瀑が連なっている。七宝瀧寺が伽藍を構えるのは、かような葛城修験の霊地である。また、その榎井川の中下流域には、九条家が開発した荘園——日根荘が往時の姿を留めつつ、ひろがっている。

本展覧会では、七宝瀧寺とその中興の祖として伝えられる志一(至一)上人にかかわる文化財を中心に、中世・近世における葛城修験の歴史と信仰について、また日根荘にもあわせて注目しながら、ふりかえってみることにしたい。

関連イベント

体験型見学会



文化庁支援事業 平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業

エクササイズ「日根荘の史跡をめぐる」

2019年
11/23^{土祝}

9時10分集合
16時頃解散予定

集合・解散場所：JR 日根野駅 東口 日根野駅前バス停付近

定員：20名程度（要事前申込 先着順 11月10日〔日〕締切）

参加費：実費（バス運賃1000円弱・昼食費）

主な探訪先：七宝瀧寺・香積寺跡・火走神社・毘沙門堂・長福寺跡・日根神社

※不測の事態に備えて傷害保険にご加入いただきます。（無料）

お申し込みの際に参加者全員の氏名とフリガナ、性別、生年月日をお知らせ下さい。

公開シンポジウム



文化庁支援事業 平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業

「七宝瀧寺と日根荘—九条政基『旅引付』をめぐって—」

2019年
11/24^日

13時～16時30分
（受付開始：12時30分）

会場：エブノ泉の森ホール（泉佐野市立文化会館）
会議室 [大]

※南海 泉佐野駅よりバス5分

<https://www.cf-izumisano.or.jp/izuminomori/>

定員：65名（要事前申込）

報告者：大橋直義（和歌山大学）「七宝瀧寺縁起攷—「外法成就の志一上人」—」

廣田浩治（中世史家）「中世の村人と修験」

細田慈人（歴史館いずみさの）「九条政基と陰陽道—『政基公旅引付』にみる—」

熱田 順（中央大学）「中世後期の領主権力と地域社会—和泉国日根荘を中心に—」

司会：大橋直義（和歌山大学）



[問い合わせ・参加申し込み]

ご参加ご希望の方は、お名前・ご連絡先・ご参加人数・ご参加希望日（両日でも可）をご明記の上、可能な限りEメールにてお申し込みください

大橋直義 [和歌山大学 教育学部] naohashi@wakayama-u.ac.jp

和歌山大学 地域活性化総合センター 紀州経済史文化史研究所 (FAX) 073-457-7890